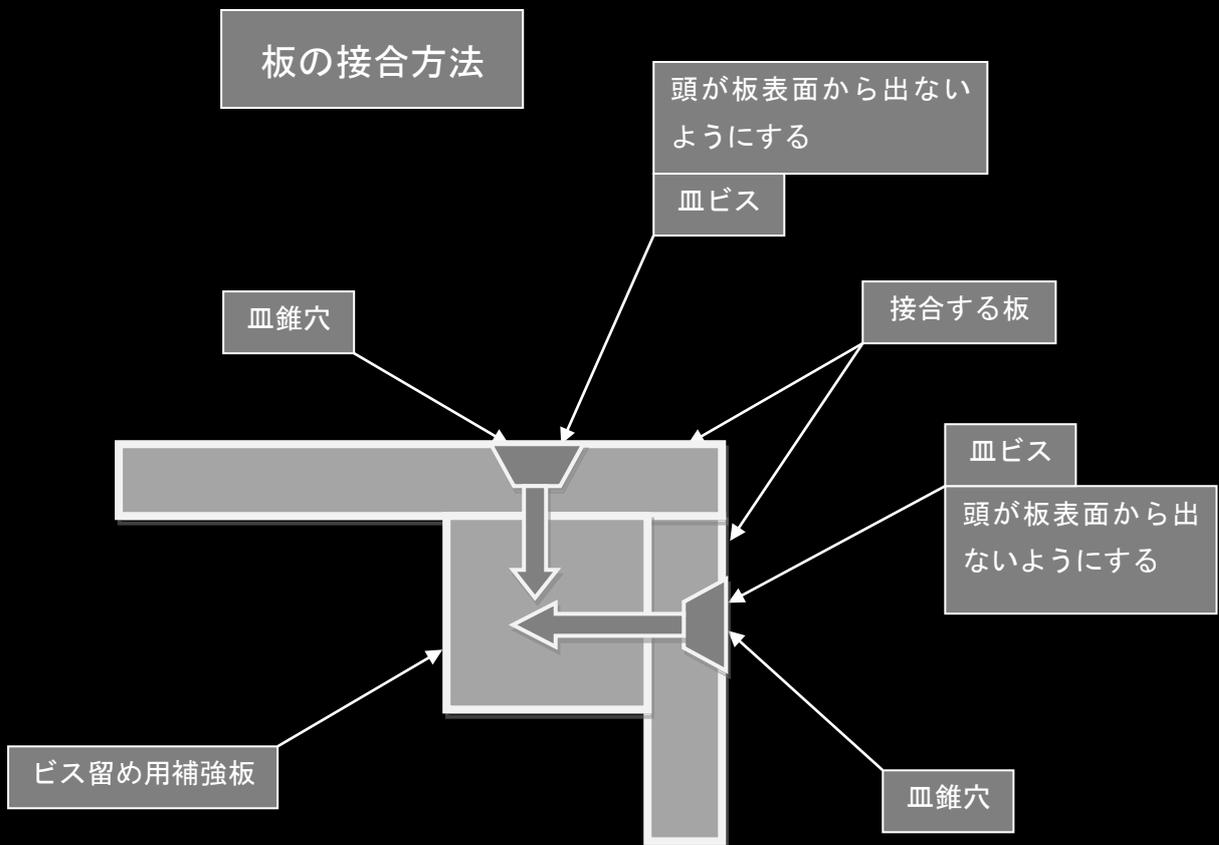
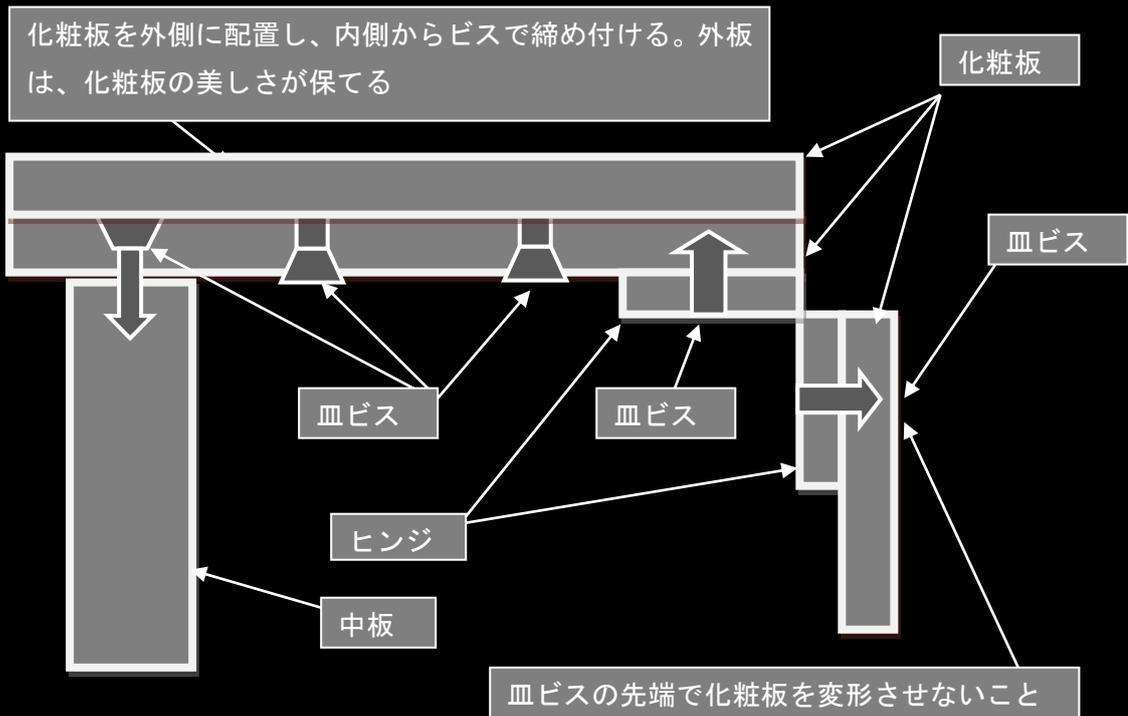


「自分で作ってみよう」解説

- ① 知人の引っ越しの手伝いに行った時、リビングに自作の立派なサイドボードがありました。市販品でない味があり、私も其の内機会があれば、作ってみようと思いました。当時CDプレーヤーがステレオレコードプレーヤーに取って代わった処であった。たまたま、CDプレーヤー、レコードプレーヤー、カセットテープのコンポを購入した時、コンポ置き場がなかったので、コンポ入れ（サイドボード風）を作ってみようと思ひました。設計図を描き、板取りをホームセンターにお願いし、皿ビス留めで板を組み立てました。ドアは両サイドに、中央はスライド式ドアにしました。スライド式ドアは透明なプラスチックを採用しました。組み立てれば157（長さ）×45（奥行き）×75（高さ）センチメートルとなった。化粧は黒色ペイントを使用しました。これが最初の物づくりであった。
- ② 次はマックのパソコンを購入した時、本体置き場、プリンター置き場が全くなかったので、コンポ入れを利用しようと思ひ付き、コンポ入れを、片側の脚とし、もう一方の脚とパソコン置き場の中央板を作製しました。この脚も扉付き、スキャナー置きなど、拡張していきました。この①と②が箱物作りのデザイン、色、接合方法などの基本パターンとなり、現在に至っています。
- ③ その後、箱物としては、洗面台横の隙間家具、掃除機収納庫、電話台、テレビ置き台など製作してきました。
- ④ これらの物を作る過程で、箱物づくりの手順が頭の中に出来て来ました。
- ⑤ 箱物づくりの手順
 - ・ 設計図を描く
 - ・ 最寄りのホームセンターで材料を調達する
 - ・ 材料が該当ホームセンターで見つからない場合は、他のホームセンターを訪問せず、代替え品を見つける。
 - ・ 調達できる材料を使用するため、設計を変更する。この時非常に頭を使い、面白い処です
 - ・ ペイント塗料は使用しない（材料の廃棄が困難である）。その代替えとして、ビニールシートを貼る。ビニールシートは黒色、チョコレート色の2種類を使用する
 - ・ 化粧板を使用する場合はビニールシートが貼れないので、表面からビス留めできない。従って、化粧板を二枚貼り合わせ、ビスの頭を隠す
 - ・ 板どうしの接合は皿ビスのみで行う。皿ビスの頭が出っ張らないように、皿錐ビットを使って、円錐の穴を開ける。ドリルの径はビスの大きさに配慮して決める



・化粧板の表面を皿ビスの先で変形させないように気をつける



「自分でやってみよう」解説

当初「自分でやってみよう」のホームページを作成したが、範囲を広げ「自分でやってみよう」のアイテムを追加することにした。アイテムを追加したことにより、表及びPDFを載せることができた。現像済み写真をスキャナーでJPGに変換することができ、写真の掲載にも幅ができた。技能のグレードアップと共に、ホームページのグレードアップが図れた。今後はムービーなどの掲載も試みてみたいです